科目名:人間文化特論	担当者:金子晃之・嶋守 さやか	開講学科等	大学院共通
		授業形態	講義
免許・資格:		開講時期	通年
		配当学年	1
受講者制限: 土曜日5限。1年生は必修科目となりますが、本年度土曜日受講が無理な人は申告してください。教員の担当順序に変更があります		単位数	2
		必須.選択	必須

授業概要と方法
人間文化研究科のアドミッション・ポリシーである複雑・多様で不透明な現代社会を切り開くための知性と理性を備えた、創造力豊かな高度職業人の養成を目指す科目である。人間文化・地域文化の学際的理解とその研究における方法論を理解した上で、独自の研究成果をプレゼンテーションできる汎用的な能力を習得するための科目である。

授業の到達目標
①人間文化の多様性を知り、その方法論を理解することができる
②方法論に則った研究計画をたてることができる
③発表技術を獲得することができる

授業外に行うべき学修活動(準備学修・事後学修
第15回目の授業での発表に向けて、人間文化特論の授業内容をふまえ、受講生は各々で「自身の研究内容と研究方法」についてレジュメを作成し、発表への準備学修を行う。

評価方法
①人間文化の多様性から自身の問題意識を獲得できたか。②問題意識に基づく独自の研究内容と方法を明確にできたか。③学術的な方法で他者に分かりやすく伝えることができたか。①から③を最終回の研究計画発表において、総合的に判断する。

教科書	参考図書
適宜、指示する。	適宜、指示する。

その他(学生へのアドバイス、連絡手段)
質問・相談は担当者の金子（t-kaneko@ohkagakuen-u.ac.jp)、嶋守（shimamori@ohkagakuen-u.ac.jp）に行うこと。

01	教育学の研究と方法（金子）
02	社会学の研究と方法（嶋守）
03	保健学の研究と方法（木村）
04	言語学の研究と方法（都）
05	食科学の研究と方法（辻岡）
06	英語学の研究と方法（内田）
07	歴史学の研究と方法（布和）
08	心理学の研究と方法（小原）
09	文学の研究と方法：フィールドワークを含む（太田）
10	観光研究の諸相（辻）
11	英文学の研究と方法（斎）
12	造形学の研究と方法（淺野）
13	英語教育の方法と周辺領域の関係（石渡）
14	社会福祉学の研究と方法（柏倉）
15	第15回　発表会（金子・嶋守）
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	
29	
30	
31	